

# かけはし

WELFARE INFORMATION

編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）  
平成26年12月15日発行 ■電話 (079) 662-0160 ■FAX (079) 662-0161 ■E-Mail yabu-shakyo@fureai-net.tv  
■ホームページ http://www.yabu-shakyo.jp/

## 10年の介護体験を聞く

▶認知症の妻を介護するなかで経験した話をする山崎さん。参加者はうなずきながら聞き入っていました（11月11日、であいの里）



### 養父市介護者のつどい

◀昼食には、であいの里のスタッフお手製の山椒ごはんのお弁当がならびました

11月11日、であいの里（旧出合小学校）を会場に、在宅で介護されている方の交流と仲間づくりを目的とする「第8回養父市介護者のつどい」を開催し、市内から34人が参加しました。

当日は、施設の見学や買い物をし、昼食時には介護の話や世間話をしながら交流を深めました。また、午後からは、認知症の人と家族の会兵庫支部会員の山崎敬一さん（椿色）を迎え、若年性認知症の妻と歩んだ10年のお話を聞きました。

講演後に参加者は、山崎さんとお茶を飲みながら、自身が介護で悩んでいる事や認知症について語り合いました。

参加者は「とてもわかりやすく、また色々和談ができました」、「家内も山崎さんの奥さんと同じ症状で、お話しを聞きよくわかりました。昔のことを思い出しながら聴きました」と話し、晴れやかな顔をしていました。

# ありがとう養父市社協10周年 しあわせフェスタ2014

## 地域の皆さまに支えられた10年に感謝

地域住民や福祉関係者が一堂に会し、「ささえあう心で笑顔あふれる福祉のまちづくり」の実現と、地域福祉の更なる充実を目指して、平成26年度養父市社協のつどいを養父市ボランティア・市民活動センターとの共催で11月1日に開催。約500人が参加しました。

今回は、養父市社協設立10周年の節目となるため「ありがとう養父市社協10周年しあわせフェスタ2014」と称し、地域の皆さまへの「感謝」の気持ちを込めて開催しました。



▲認知症妻の介護体験を話す山崎さん（=11月1日、養父市立ビバホール）

### 【オープニング】

養父市社協 小林哲夫会長の挨拶の後、開会を告げる華やかな音楽と共に拍手と歓声が沸きあがるなか、フェスタが始まりました。

バザーやボランティアグループの活動パネル展示、社協10年のあゆみ紹介、体験コーナーなどの催しも一斉に始まり、多くの来場者で賑わう中での開幕となりました。

### 【式典】

開会に先立ち、今年発生した丹波市と福知山市における豪雨災害と広島市の土砂災害、御嶽山噴火などの自然災害により亡くなられた方々に対し黙祷がささげられまし

た。

社協職員によるオープニングコーラス「こころの花ばたけ」で式典がスタート。

小林会長は、「平成16年の4町合併による養父市誕生にもない、2か月遅れの6月に『1行政に1社協』として、養父市社会福祉協議会が生まれました。平成20年度には、『第1次地域福祉推進計画』

を策定し、住民が主体的に参加し、生きがいや社会的役割を持つなど、地域の福祉力を社協と住民が一体となって高めていく諸事業を推進してきました。特に『小地域福祉懇談会の開催』、『福祉委員の設置』、『福祉連絡会の組織化』、『福祉防災マップづくり』を重

点的に取り組んできました」とあいさつしました。

表彰では多年にわたり社協活動の充実向上に尽くされた方々7名へ役員表彰、また、ボランティア活動を通じ、地域福祉の向上に尽くされた6団体と1名へ感謝状が贈られました。

### 【講演】

認知症の人と家族の会兵庫県支部会員の山崎敬一さんを講師に迎え、「スローグッバイでできる幸せ・若年性認知症の妻と共に歩んだ10年」と題した講演がありました。

山崎さんは、平成17年に若年性認知症を発症された妻（現在65歳）の介護や、平成



▲感謝状を受け取る上垣巖さん



▲「ピーリピリピリッピリ」のフレーズ「バンザイ朝倉さんしょ」を歌う遊月亭いく藏さん

25年10月から八鹿町下町にある地域ふれあいの家「たまり場」を会場に第2木曜日「認知症カフェ」をオープンしたことなどを話し、「認知症になっても安心して生きていける社会は、誰もが最後まで人間らしく生きていける社会だと思えます」「介護者は、親身になって話を聞いてもらうだけで癒されます」と訴えました。

### 「つながりコンサート／エンディング」

但馬の魅力を歌で紹介するシンガー・ソングライターの遊月亭いく藏さんが、「但馬はひとつ」「天滝へ行こう」などご当地ソング5曲を披露。但馬の自然や人の魅力を感じやすいメロディーにのせて歌い、特に「バンザイ朝倉さんしょ」の歌では、遊月亭さんのバンザイに合わせて会場からも「バンザイ」の声がかきわたりました。

エンディングでは、下八木区の「やぶからぼうたいそうがんばろう会」の皆さんが「やぶからぼうたいそう」を披露しました。

同会は、その名のとおりやぶからぼうたいそうに取り組むグループで平成20年12月に始まり、現在は1日2回公民館などに集まって、健康づくり、仲間づくりのため体操を行っています。フェスタの最後を飾る体操を、来場の参加者が一緒にする場面も見られ、盛り上がる中、フェスタの幕が閉じられました。

### 受賞者（敬称略・順不同） 役員表彰

藤川 昭男（関宮）  
田淵 久和（関宮）  
柳生 勝利（養父）  
羽瀨 三枝子（大屋）  
中西 美代子（八鹿）  
小柴 勝彦（養父）  
橋本 康雄（養父）

### 感謝状

のぎくの会（八鹿）  
八鹿R.V.Cひよっこ（八鹿）  
朗読ボランティア声友（養父子育てサロン「そよ風」）  
サポーター（養父）  
おおや盆踊り保存会（大屋）  
但馬信用金庫関宮支店（関宮）  
上垣 巖（大屋）



▲お揃いのシャツで体操。下八木区の皆さん

### 「フェスタ会場の様子」

※バザーや体験教室等を団体の皆さんやボランティアの協力により開催しました。一部写真で紹介します。



▲骨折リスクチェック（養父市健康福祉部）



▲バザー（おおや作業所・さつき福祉会保護者）



▲絵手紙体験教室



▲ボランティアグループ活動紹介

# 笑顔あふれる福祉のまちづくり 10年のあゆみ

2008	2007	2006	2005	2004	年表
<p>◎ 指定管理施設が自主運営となり、受託金が大幅削減</p> <p>◎ CD・DVDを製作</p> <p>* 養父市地域包括支援センターと協働で「やぶからぼうたいそう」を創作し普及啓発。</p> <p>* 養父市地域包括支援センターと協働で「やぶからぼうたいそう」を創作し普及啓発。</p> <p>* 保存版「まちの子育てひろばまるわかりガイド」を作成</p> <p>* 社協広報紙「かけはし」創刊50号（8月）</p> <p>* 組織経営検討委員会を設置</p> <p>* 福祉目標に「ささえあう心で笑顔あふれる福祉のまちづくり」</p> <p>* 第1次地域福祉推進計画（H20～H24）策定</p> <p>* 第2代会長に中尾智昭氏就任</p>	<p>◎ 養父市行政改革大綱により、市からの補助・受託金が削減される</p> <p>* 福祉用具貸与事業所を統合。養父支部を事務所に</p> <p>* 「介護予防サポーター養成研修」を地域包括支援センターと共催（毎年開催）</p> <p>* 第1次地域福祉推進計画策定委員会を設置</p>	<p>* 子育て支援プログラム「手つなぎnana」開設</p> <p>* 歳末たすけあい運動で「地域ふれあい事業」への重点配分を実施</p> <p>* 権利擁護相談（くらしの法律相談）を開始</p> <p>* 福祉有償運送事業を開始</p> <p>* 会長に谷本昇氏再任</p> <p>* 災害対策マニュアルハンドブック作成</p>	<p>* 養父市社協ホームページ開設</p> <p>* まちの子育てひろばが自主事業に</p> <p>* 子どもの冒険ひろば事業のエリアを拡大</p> <p>* 市から「知的障害児託児所運営事業」を受託</p> <p>* 「養父市ふれあい郵便のつどい」を養父市と共催</p>	<p>● 台風23号が養父市に襲来（10月20日）</p> <p>災害ボランティアセンターを立ち上げ、宿南地域・下網場区で救援活動を行なう</p> <p>* 養父市社協ホームページ開設</p> <p>* まちの子育てひろばが自主事業に</p> <p>* 子どもの冒険ひろば事業のエリアを拡大</p> <p>* 市から「知的障害児託児所運営事業」を受託</p> <p>* 「養父市ふれあい郵便のつどい」を養父市と共催</p>	<p>社会福祉法人養父市社会福祉協議会設立（6月1日）</p> <p>* 初代会長に谷本昇氏就任</p> <p>* 社協広報紙「かけはし」創刊</p> <p>* 第1回養父市ボランティアのつどい開催（毎年開催）</p>
<p>* 不況による製造業派遣切りで年越し派遣村悪化</p> <p>* アメリカのリーマンショックで世界経済が急激に悪化</p> <p>* 第29回オリンピック（北京）</p> <p>* ミャンマー軍事政権への反政府デモを取材中の日本人ジャーナリストが射殺される</p> <p>* 郵政民営化（JPGグループ24,700局）発足</p>	<p>* 京都大学山中伸弥教授らiPS細胞を複製。（2012年、ノーベル生理・医学賞受賞）</p> <p>* 秋篠宮紀子妃、悠仁親王出産</p>	<p>* 日本国際博覧会（愛知万博）が開催</p> <p>* JR福知山線脱線事故</p>	<p>* 第28回オリンピック（アテネ）</p> <p>* インドネシアスマトラ島沖地震（M9.1）</p>	<p>養父市社協10年のつどいき</p>	<p>社会のできごと</p>



# ささえあう心で 養父市社協

養父市社会福祉協議会は、  
これからも、  
みなさまと一緒に、  
「養父市の福祉(=しあわせ)」  
を進めていきます。

2014	2013	2012	2011	2010	2009
<p>● 法人設立10周年(6月1日) * 第4代会長に小林哲夫氏就任 * 「ありがとう養父市社協10周年しあわせフェスタ2014」を開催 ▽ 丹波市豪雨災害 ▽ 丹波市災害ボランティアセンターへ職員派遣 ▽ 丹波市へ災害救援ボランティア派遣</p>	<p>● 第2次地域福祉推進計画(H25~H29)策定 * 「認知症カフェ」を開設 * 点訳ボランティア養成講座を開催。点訳ボランティア「あかり」結成 * 「精神保健ボランティアほほえみ」結成 * 養父市社協「agebook」ページを開設 ● 台風18号による豪雨災害 福知山市へ災害救援ボランティア派遣</p>	<p>* 会長に藤川昭男氏再任 * 第2次地域福祉推進計画策定委員会を設置 * 社協広報紙「かけはし」創刊1000号(10月) * 障害者相談支援事業所を開設 * お話し(傾聴)相手ボランティア養成講座を開催。傾聴ボランティア「みみの会」結成 * 精神保健ボランティア養成講座を養父市健康課と共催</p>	<p>● 「養父市社協のつどい」を養父市ボランティア・市民活動センターと共催 * 「地域ふれあいの家いきいきサロン八鹿」開設 ● 「東日本大震災」被災地支援活動 ▽ 被災地(南三陸町、女川町、東松島市、石巻市、気仙沼市)へ職員派遣 ▽ 気仙沼市・石巻市へ災害救援ボランティアを派遣 ● 台風12号による豪雨災害 和歌山県那智勝浦町へ災害救援ボランティア派遣</p>	<p>* 第3代会長に藤川昭男氏就任 * 養父市社協オフィシャルリーフレットを発行 * 「福祉委員のてびき」を作成、レクリエーション用品を紹介した「これレク」を作成 * 養父市社協のつどいを初めて開催 ● 東日本大震災(3月11日) 宮城県被災地へ職員派遣</p>	<p>* 組織改編により、本部事務所を兵庫県集合庁舎へ(6月1日)。大屋支部が大屋老人福祉センターから大屋保健センターへ移転 * 3課体制に(総務課、地域福祉課、介護福祉課)、介護保険事業所を統合 * 給食サービスの調理業務を業者委託 ● 台風9号による豪雨災害 ▽ 宍粟市、朝来市、佐用町へ災害救援ボランティア派遣 ▽ 佐用町災害ボランティアセンターへ職員を派遣</p>
					
<p>* 消費税率5%から8%に増税 * 赤崎勇・天野浩・中村修二の3人が青色発光ダイオードの発明により、ノーベル物理学賞受賞</p>	<p>* 富士山が世界文化遺産に決定 * 2020年夏季オリンピックの開催都市が東京に決定</p>	<p>* 東京スカイツリー(634m)開業、電波塔として世界一の高さ * 第30回オリンピック(ロンドン) * 日本政府が尖閣諸島国有化を決定。中国が反発し、過去最大級の反日デモに発展</p>	<p>* テレビアナログ放送終了デジタル放送へ * 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)により発生した津波、余震)が発生 * 世界人口が70億人突破</p>	<p>* 宮崎県で口蹄疫被害発生 * 小惑星探査機「はやぶさ」が、打ち上げ以来7年ぶりに地球に帰還 * チリのサンホセ鉱山の落盤事故で地下700mより33人救出</p>	<p>* 新型インフルエンザが大流行 * 兵庫県豪雨災害 * 第45回衆議院選挙で民主党が大勝し、政権交代へ</p>

# 集まれ！支部社協

## 八鹿支部

養父市八鹿町下網場320 地域交流センター「福祉の杜」 TEL：662-0160 FAX：662-0161



▲送迎ボランティアの協力もあり、多くの高齢者が参加しました(=11月8日、小佐ふれあい倶楽部)

このつどいは、地区の高齢者が一堂に会し交流を深めることを目的に毎年行われ、今年で15年目となります。自治協議会ふれあい福祉部「赤とんぼの会」が企画、運営の中心となり取り組んでいます。

朝食には、ボランティア手作りのうどんやおでんなどがふるまわれ「この時期はあったかいもんがおいしいな」と、満足した表情で食っていました。

参加者は「高齢化が進む地域ですが、こうやって集まり、みんなと元気に顔を合わせられるのが楽しみです」と笑顔で話していました。



▲「これこそ本当のふきで（吹き掃除）と、ほうきで作った笛を演奏する足立さん

午前は、竹ぼうきやホーシなどの生活用品でつくった楽器を演奏する、マエストロ足立さんが出演。軽快なトークと見事な演奏に、会場は笑いと拍手の渦にまつまれました。

小佐地区

笑う門には福来たる

長寿の集いを開催

## 養父支部

養父市広谷251-1 TEL：664-1142 FAX：664-2181

11月27日、養父小学校6年生25人が、視覚に障がいをもつ西山郁代さん（藪崎）を迎えて交流会を行いました。

西山さんから目が見えなくなった経緯や現在の暮らしの様子について話を聞いたあと、児童から「得意な料理はなんですか」との質問に「刺身です。目が見えなくても料理もできるし、魚を三枚に下ろすことができます。



▲西山さんの美しく澄んだ歌声に思わず拍手をする児童(=11月27日、養父小学校)



▲事前学習をした「手引き」で、西山さんをエスコートする児童

きるんですよ」と西山さんが答えると、児童たちは驚きの声を上げていました。

また「普段のくらしで困ることは」の問いに「靴下の色を間違えて履くことがあったので、いつも同じ色を買うようにしています」と生活するなかで工夫していることも話されました。

伊藤沙緒子さんは「目が見えなくても、できることはたくさんあることが分かりました。歌声もすごく素敵で涙が出そうになりました」と述べていました。

養父小6年

知りなかつたことだらけの視覚  
視覚に障がいのある方と交流

# information

## 大屋支部

養父市大屋町加保678-1 大屋保健センター内 TEL: 669-1598 FAX: 669-0093

### 笑顔の花が咲く



### 大屋ひとり暮らし高齢者のつどい

「久しぶりやなあ」「元気にしとんさったか」

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象としたつどいを11月18日、南谷ふるさとセンターで開催し、52人が参加しました。

このつどいは、ひとり暮らし高齢者の親睦と交流を図ることを目的に、ボランティア延べ56人が、対象者へのチラシの配布から、会場準備、昼食づくり、接客まで協力を行っています。

お楽しみ会では、大屋幼児センター園児による手話歌や手遊び、大屋小学校3



▲ボランティア手作りの昼食が振る舞われ、ケーキ、壁掛けの飾り物、マフラーがプレゼントされました(=11月18日、南谷ふるさとセンター)

年生による合奏と、息の合ったよさこいの踊りを鑑賞し、シルバー人材センター「笑いと健康お届け隊」によるレクリエーションで会場は大盛り上がり。最後に全員で「紅葉」「故郷」を歌い、つどいを締めくくりました。参加者で来年100歳を迎える田村正吉さんは「ボランティアの皆さんのおかげでとても楽しく過ごせました。また、私がこうして生活できるのも地域の皆さんのおかげと感謝しています。また来年も参加できるように健康に心掛けたいです」と話していました。

## 関宮支部

養父市関宮193 関宮ふれあいの郷内 TEL: 667-3248 FAX: 667-3351

であいの里を会場に

### ふれあいの輪が広がった 3区合同で「さくらさくら」開催

11月12日、出合と小路頃、轟の3区と安心地区推進協議会が連携し「いきいきサロン」を、出合校区協議会が地域の安心拠点としている「であいの里」(旧出合小学校)を会場に開催し22人が参加。

今回は、3区の区長や民生委員・児童委員等、福祉に携わるメンバーが共同で企画実施した初の試みで、区を越えて交流することを目的に開催しました。

この日は、お茶を飲みな



▲お手玉遊びで楽しむ参加者(=11月12日、であいの里)



▲出合校区協議会女性部お手製りたてのあべかわもちが振る舞われました

がら、お互いの近況を話したり、また、体操やゲーム、食事などで楽しいひと時を過ごしました。

参加者の西谷日出子さん(出合)は、「とても楽しい一日でした。美味しいお食事もいただきながら会話も弾みました」と話していました。小路頃区長の米田渡さんは、「小路頃は11世帯と少ない区ですが、出合や轟と一緒に行動することで多く人が集まり、参加者も楽しかったと思います」と感想を述べていました。



▲精神に障害をもつ当事者から、発病したきっかけや社会復帰に至るまでの経緯などを聞きました（=11月26日、やぶ保健センター）

この日は、精神障害をもつ当事者「ピアサポーター」の体験発表後、講師の「生活支援センター」ほおずき・田中里未さんから、当事者が地域で生活するために必要なことや関わり方についての話がありました。受講者は「統合失調症の幻聴・幻覚の症状は、脳の変化からくるもの

精神保健ボランティア養成講座（全5回）の受講生21人が11月26日、やぶ保健センターで最終回の講義のあと修了証を受けました。この研修は、精神障害についての正しい知識と理解を深め、精神障害をもつ人を地域で支える人材を育てようと、

市役所健康課と社協が共催して開催したもので、今年で3回目となります。受講者は、統合失調症やうつ病などについてその方たちへの接し方などを学び、また、障害者が通いながら就労体験を行う作業所を見学しました。

21人が修了

# 「こころの病気を理解しよう」

## 精神保健ボランティア養成講座

▲就労支援事業所「かるへの郷ドリームワークス」での施設見学では、利用者と一緒に交流しながら作業をしました



で、理由があつて行動していることが分かりました。「病を乗り越え前向きに生きているピアサポーターさんのお話が感動しました。まわりの人が心の病を理解し、普通に接することが大事であると分かりました」と話していました。

### 子育てサロン・放課後プリーパークの案内

●子育てサロンそよ風

●日 時 12月22日(月)  
1月19日(月)  
●場 所 ふれあいいきいきサロンそよ風

※12月29日と1月5日はお休みします

●子育てサロン伊佐

●日 時 1月5日(月)  
10:00～11:30  
●場 所 伊佐ふれあい倶楽部  
※「新春おたのしみ会」を行います

●多胎児サークルピーナッツ

●日 時 1月9日(金)  
10:00～11:30  
●場 所 ふれあいいきいきサロンそよ風

●子育てサロンすくすく

●日 時 1月13日(火)  
10:00～11:30  
●場 所 三宅団地集会所  
※みんなで絵描きしよう！お年玉プレゼントもあります♪（参加費1家族100円）

◆関宮放課後プリーパーク

●日 時 1月9日・23日(金)  
14:30～16:30  
●場 所 まちづくり交流センター「関の館」  
多目的ルーム

1月～3月の間は場所を変更します

◆大屋放課後プリーパーク

●日 時 1月19日・26日(月)  
14:30～16:26:00(月)

### 生活福祉資金

### 教育支援資金

#### 就学支度費 / 教育支援費について

教育支援資金は、学費の捻出が困難な低所得世帯の学生に対し、高等学校や大学等への入学に必要な、また在学中に必要な費用を貸し付け、その在学や将来の就労を支援する制度です。

#### 【就学支度費】

●対象経費…入学金、制服、敷金、礼金等

#### 【教育支援費】

●対象経費…授業料、教科書代、交通機関利用料等

※生活福祉資金（教育支援資金）の利用にあたっては、他の融資・給付制度の相談または利用が必要となります（他制度優先）。貸付限度額、償還期間など詳しくは下記までお問い合わせください。

総務課 電話：662-0160

#### 読者の声

社協の移送サービスを利用させて頂き、本当にありがとうございます。運転手の方が「『かけはし』いつも投稿して頂きありがとうございます」優しい声掛けを頂き本当に嬉しかったです。かけはしは、隅から隅まで読んで生活の中に取り入れています（体操など）。感謝しています（八鹿地域 女性 80歳）



# 今月の かけはしさん



才木 茂さん  
(八鹿町朝倉)

私の信条は『為さねば成らない何事も：為せば成る』の名言通りこつこつ実行することです。  
朝倉城を愛するが故に、中世の歴史から発している朝倉始祖の朝倉高清の顕彰まで長い時間かけて辿り着きました。  
ガイドも務めており、2時間聴講して下されば概要を解説します。歴史は縦にも横にも繋がりを持っています。思っどに朝倉三城は郷土のお宝なり。但馬一円にその縁が存在し、朝倉から八木や福井市へ出ているのです。その反対のルーツを唱えている人もいます。楽しんでいられるのは私一人でしょうか。興味があれば一報下さい。



## 善意銀行だより

平成26年10月16日〜平成26年11月15日 (敬称略)

預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています  
養父市善意銀行へ寄付金の預託をされた方は寄付金控除を受けられる場合があります



● 大森	松崎 豊	● 匿名	以上金一封 6人
● 小山	神宮司 茂生	● 匿名	10,000円
● 大藪	堀 耕治	● 匿名	2,700円
● 広谷三区	中野 利洋	● 匿名	5,278円
● 十二所一	西垣 正司	● 匿名	5,000円
● 中米地	宮本 紀	● 匿名	3,000円
● 長野	匿名	● 匿名	5,000円
● 由良	栗田 猛	● 匿名	3,000円
● 中	田村 利子	● 匿名	1,000円
● 門野	和田 康弘	● 匿名	2,000円
● 大久保	藤原 範幸	● 匿名	3,571円
● 尾崎	山根 和巳	● 匿名	5,000円
● 丹戸	田淵 務	● 匿名	5,000円
● 京口	金一封	● 匿名	1,000円
● 加保	山根紀美子	● 匿名	5,000円
● 天子	山本 陽子	● 匿名	1,000円
● 下八木	西田 和男	● 匿名	8,000円
	太田 豊	● 匿名	8,000円

### ▼ 善意の寄附

### ▼ 物品の寄附

### ▼ 認知症啓発事業の預託

### ▼ 関宮文化祭バザー収益金

### ▼ しあわせフェスタ2014バザー収益金

### ▼ チャリティ歌謡フェスティバル収益金

### ▼ たすけあい茶会収益金

### ▼ 絆歌謡愛好会

### ▼ 茶道裏千家淡交会

### ▼ 但馬支部八鹿地区

### ▼ 養父市社協介護福祉課職員

### ▼ さくらんぼの会

### ▼ 川西

### ▼ 川東

### ▼ 餅耕地

### ▼ 中米地

### ▼ 紙おむつ

● 十二所一	上田 五男
● 車いす	
● 中央	荒木 恒雄
● かほちや	
● 宮本農地水環境の会	
● さつまいも	かほちや
● 夏梅	鎌田 弘美
● 白米	上垣 巖
● 中間	
● さつまいも	荒田 齊
● 糸原	
● 白米	森本 源治
● 大屋市場	たまねぎ
● じゃがいも	田淵 務
● 丹戸	
● 紙おむつ	石原さと子
● 三宅	
● 白菜	大根
● 鶉縄	片芝 英夫
● かほちや	
● 匿名	7人
● じゃがいも	さつまいも
● もち米	たまねぎ
● ねぎ	紙おむつ
● 寄附金	64万5,669円
● ありがとうごさいました。	

11月14日(金)、第63回兵庫県社会福祉大会が、三田市総合文化センターで開催され、伝達表彰がありました。  
● 受賞者 (敬称略、順不同)  
● 兵庫県社会福祉協議会会  
長表彰  
長表彰  
【団体】  
● やぶお手玉の会(養父)  
● 琴弾きの会(大屋)

### 図書カードが当たる!

## パズル

□ にはまる漢字の文字を考え、こぼしを完成させましょう。  
■ ヒント 冬至の日にお風呂に入ると風邪を引かないそうです

給

供

給

■ 応募方法 はがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、「かけはし」をお読みになったご意見・ご感想をお書き添えの上、ご応募ください。  
正解者の中から抽選で5名さまに図書カードを贈ります。

■ 応募先 平成26年12月26日必着  
〒667-0022 養父市八鹿町下網場320 「福祉の杜」内  
養父市社会福祉協議会  
FAX 662-0161

★ 前回の答えは  
『七五三』でした  
宇和野れいこさん(虹の街)  
長島 俊孝さん(門前)  
上垣 柳子さん(蔵垣)  
西谷 和子さん(出合)  
藤原與志江さん(大久保)  
以上5名の方が当選されました。  
おめでとーございます。

# 総合相談所のご案内

いずれも相談無料

## 心配ごと相談・結婚相談

13:30～16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありませんか？

- ◆ 12月26日(金) 関宮ふれあいの郷
- ◆ 1月2日(金) 休み
- ◆ 1月9日(金) 社協養父支部
- ◆ 1月16日(金) 大屋保健センター

## 弁護士による無料法律相談

13:30～16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 平成27年1月21日(水)
- 場 所 地域交流センター「福祉の杜」
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 電話 662-0160

## くらしの法律相談

8:30～17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、福祉サービス利用援助事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月～金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。

## 教えて弁護士さん!



### 第83回「選挙」のはなし



**Q** 先日、衆議院が解散となり衆議院議員の選挙が行われることになりました。日本では国会や地方議会の議員、市町村長を選ぶために選挙が行われますが、これはどのような定めがされているのでしょうか。地域によって、18歳から投票できるようにする、などの違いを設けることができるのでしょうか。

**A** 選挙については、憲法と法律で定められています。まず、憲法において「公務員の選挙については、成年者による普通選挙を保障する」と定められています。つまり、国会や地方議会の議員、市町村長を選ぶための選挙においては、20歳以上の全ての者（納税額や資産の額によって差別されないこと）に選挙権が認められることを指しています。

このため、例えば選挙権を30歳以上の者とすることは憲法違反になりますが、より選挙権を広げることになる18歳以上とすることは、憲法には反しないことになると考えられます。

このように、憲法に定められた内容に反しないよう

に法律で具体的な制度について定めることになり、実際には公職選挙法において定めています。

公職選挙法では、選挙権だけでなく被選挙権（立候補するための条件）についても定められており、衆議院議員、都道府県議会、市町村議会及び市町村長については25歳以上の者、参議院議員及び都道府県知事については30歳以上の者が立候補できると定めています。また、犯罪を犯し受刑中の者や選挙に関する犯罪を犯し一定期間が経過するまでの間にある者については、立候補することができないとされています。

またそれ以外にも、議員等に欠員が出た場合の補欠選挙の方法や、選挙区に関する区割りや選挙の公示から投票までの期間、投票方法や開票方法、選挙管理委員会などについても定められています。

なお、議員定数については、衆議院議員と参議院議員については公職選挙法によって定められていますが、地方議会議員については地方自治法によって定められています。

国会議員だけでなく、地方議会や首長の選挙は、ご自分の意見を政治に反映させる方法であり、民主主義を支えるための非常に大事なものですので、皆さんもぜひとも投票に行くよう心がけて頂きたいです。

S I N法律労務事務所 弁護士 福島 健太



上垣 ゆうせい 侑正ちゃん 9歳6ヶ月  
(加保・男の子)

宝

うちげえの

## お父さんの健一さんに聞きました♪

### ◆名前はどのようにつけましたか？

早くから男の子だとわかっていたので、生まれる前に両親で優しい子に育ててほしいとの思いを込めて名付けました。

### ◆今、興味をもっていることはなんですか？

歌をうたうことです。時には替え歌をうたっ  
てくれることもあり、聞いていて楽しいです。

### ◆ご両親から一言メッセージ

いつも笑顔で元気いっぱい侑正、すくすく大きくなあれ。

